



第六輯 建築と社會 第十號目次

□ 繪……關東大震災所見……(一四)

〔卷頭〕

□ 大阪都市大震災の記録……………

〔論說〕

□ 關東大震災の被害に就いて……………工學博士・片岡 安・二

□ 震災後に於ける東京市復興に關する意見の一端……………工學博士・武田 五一・二

□ 大震災に對する都市の計畫……………工學博士・田邊 朔郎・七
——大震害は今回に限らない。關東地方にも限らない。奈何にして其震害を軽減すべきや。——

□ 關東震災後の大阪市の爲に……………片岡建築事務所・伊藤 正文・三
技師早大工學士

□ 大自然と我等技術家……………工學博士・大井 清一・六

□ 破壊されたる帝都と其の復興……………文學士・黒田 鵬心・三

〔都市〕

□ 樹木の防火的價值……………都市計畫技師・大屋 靈城・七
——東京の震災を視察して——

〔資料〕

□ 日本震災史考……………江村 郊邨・三

〔震災雜記〕

□ 東京は何故に亡むたか……………日本エレベーター製造株式會社・常務取締役 谷 民藏・五

□ 横濱の廢墟を踏破して……………池田谷久吉・七

□ 大震災後の箱根を越えて……………岡本 茂樹・七

□ 後世の史家へ……………雙 葉・六

——大震災日誌——

〔會報〕

□ 日本建築協會九月中記事